

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

21) 施しについて

マタイ 6:1-4

2019.7.21 HKJCF

1

概観

御国の民として、「父に栄光を帰す」ことの大切さ、
そして当時、施し、祈りと断食の 宗教生活の三大柱について
学びたい。

アウトライン

- | | |
|------------|------|
| 1. 偽善者の善行 | V1-2 |
| 2. 御国の民の施し | V3 |
| 3. 天の父の報い | V4 |

2

1. 偽善者の善行 V1-2

- 1) 人に見せるために：動機が大事；対人関係の態度
→自分の敬虔さを誇る心。神様の栄光、恵み、
すばらしさを見せるように。
- 2) 善行の重要性：神様と、人と交わる良い恵みの
手段。施し=憐れむ心を表現する手段。
- 3) 会堂や通りで：施しを行う通常の場所；動機が
不純→「ほめられたくて」。
- 4) ラッパを吹く：定かでないが、多額な献金の場
合、ラッパを吹いて皆に知らせる習慣？

3

2. 御国の民の施し V3

- 1) 偽善者との違い：役者=①仮面をかぶる②人の
目を意識している ③報酬をもらう。
- 2) 右の手と左の手：進んで惜しみなく、未練を持
たずに与えること（申命記 15:7-11）。
- 3) 人に知られない：正しい動機=天の父の承認>
人の承認；自己犠牲>自己顕示。
- 4) 世の光として：矛盾?（マタイ 5:14-16）。天の
父があがめられるように。神の栄光を横取りせず
に、人の報いを受けようとしな。

4

3. 天の父の報い V4

- 1) 隠れている施し：人に隠れている時と、人に見
せようとする時の神様の反応。
- 2) 見ておられる天の父：神様は内面を見ておられ
る→徐々に聖められていく。
- 3) 人の報い：神の報いを無効にしてしまう；善行
で人の称賛を買っている。
- 4) 天の父の報い：必要なる方が満たされ、祝福
されること。自分→神様；自分→他人。神様の祝福
が約束されている（詩篇 112:9）。

5

適用

- ①善行のことで、偽善者にならないように：
神様に帰せられるべき栄光を横取りし、自
分のものにしてしまわないように。
- ②真実に必要のある人々に仕えるように：
自己義認や自己アピールのためでなく、神様
が必要のある人々に必要なものを 備えてく
ださるように。

6